

登録番号：0188
作品名：「ちくちく」

私たちが普段着ている服一着を作るにも
様々な環境負荷がかかっている
ファッション業界の環境負荷は
世界共通の課題だ

私たちがすべき事は
**今所有している一着を
できるだけ長く着る**たったそれだけ。

この空間は来場者が
実際に縫うことで完成していく
常にカラフルに変化するこの空間は、
何度訪れても新たな発見があるだろう

concept

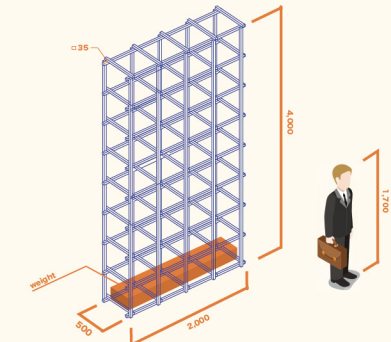


「縫う」を当たり前

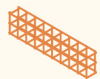
服だけでなく、人と空間を
パッチワークのように繋ぎ
何度も訪れたい場所を。
visible mending という
手法を用いて、縫うことの
楽しさ手軽さを知り体験を
通し環境問題を「自分ごと」
として捉えられる空間作り
を目指す

躯体について

35 角の木材で組み、その上からパッチワークのように布をつけ
後付けの防災加工を施す



ex.1
狭いスペースでも



ex.2
まっすぐな廊下でも

木で組むことによって何回も組み直せる。ブース自体も再利用ができ
サステナブルである。グリット化しているので、場所に合わせて組み
変えることもでき、どんな場所にも対応できる。組み方+布の張り方
によって多様な空間が生まれる。

ちくちく

古着が繋ぐ パッチな空間



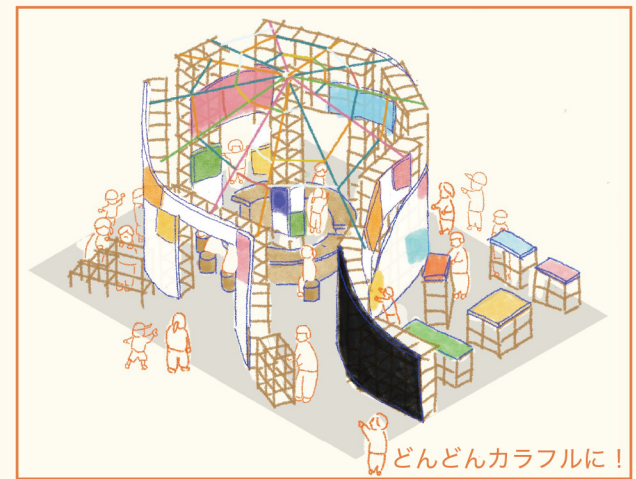
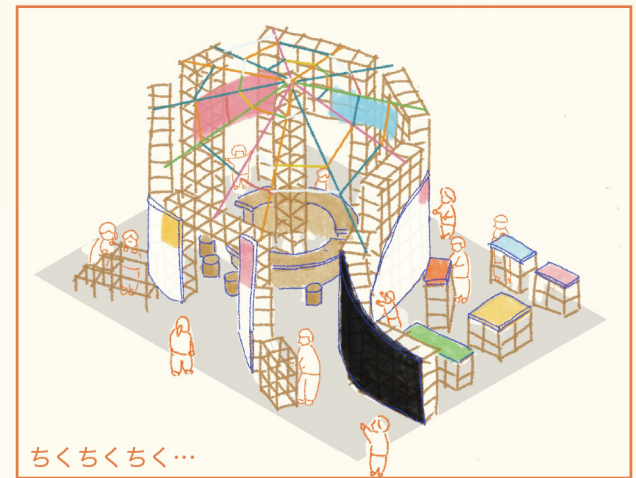
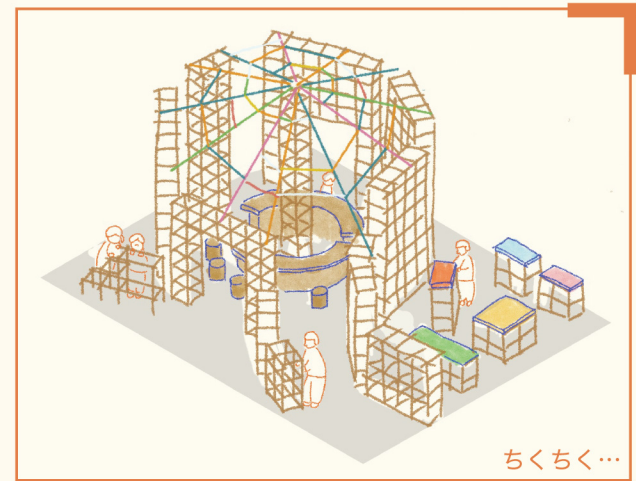
・ワークショップエリア
縫うことの楽しさ・手軽さを
体験してみない？ 縫った布は
ブース内の家具の貼り布と
なって生まれ変わる
何度来ても同じ姿はなく
常にカラフルに変化していく



・環境エリア
服ができるまでの道のりを通して
ブースの中へ 一枚の服を作るのにも
たくさんのエネルギーが使われている
服を大切に長く着よう！



・販売エリア
visible mending された商品を
購入できる環境に優しい糸も
販売中お家でもちくちくしよう！



about

楽しくてサステナブルな縫い方である **Visible mending** を用いる

Visible mending とは見える修繕という意味

空いた穴やほつれ汚れを隠すのではなくポジティブにカラフルな糸で
自由に縫うことで服に愛着を持ちアイデンティティの形成へと繋がる

編み物などとは異なり、縫い方にルールはなく
自由に子供をみながらでも手軽に縫うことができる

zorning

図面左上から吸い込まれる
ような動線を意識した

環境
ファッション業界の
環境負荷を視覚的に表現

販売
visible mending された
衣類や裁縫道具を販売

体験
中で visible mending の
ワークショップを行う

